

(6) Linné universitetet (リンネ大学 : Linnaeus University)



1) 概要について

障害学生支援担当のコーディネーターと、紹介者の日本人教員に面会し、学内視察およびインタビュー調査を行った。ここは2010年1月にベクショー大学とカルマー大学が統合されて設立された新たな大学で、健康・ソーシャルワーク・行動科学部、人文・社会科学部、ビジネス・経済・デザイン学部、自然科学・工学部、教育学部の5学部を有する総合大学である。学生数約31000名。毎年40カ国・地域から1000名近い学生を留学生として受け入れていることでも有名で、その中にも障害学生が含まれている。ベクショーキャンパスには15300人の学生がいて、約1000人の職員がいる。障害学生支援のためのコーディネーターが3人常勤している。この他、メンター制度を持っていて、博士課程の学生等が障害学生のサポートを行う場合がある。

2) 障害学生支援について

この1月に統合されたばかりでまだシステムを稼働させて間もない状態であるため、現況についての統計的な資料は入手できなかったが、コーディネーターの働きについて概要を知ることができた。コーディネーターは各大学で配置人数に差があるが、必ず配置することが義務づけられているとのこと。そして、3つのネットワークを持っており、一つは北欧諸国全体のネットワーク (Nordic Network)、二つめはヨーロッパ全体をカバーするもの (European Network)、そしてスウェーデン国内のもの (Sweden Network) である。

この内、スウェーデン国内のネットワークは年に1回集まり情報交換を行っているという。また、テーマごとにチーム（グループワーク）が設定されており、これは年に2～3回集まることもある。ここでの仕事の内容は、学内予算の内障害学生支援に関わるものの運用と、個々の学生のニーズに対応したサポートのコーディネートである。学内予算は全額予算の0.3%が障害学生支援に充てられている。金額は25,000,000 SEK（日本円で約3000~3500万）程度とのこと。ニーズ対応について、現在最も大きな課題はディスレクシアのある学生へのサポートで推定250人の学生がディスレクシアの問題でサポートを求めているという。このサポートには、教育学や心理学の専門家も共同であたっており、教材開発や支援方法の開発に取り組んでいる最中ということであった。新設のキャンパス建築物のほとんどはバリアフリーになっていて、そのこともあって移動困難のある学生（肢体不自由学生等）からの直接的なニーズは減っているとのこと。難聴学生のために、マイクやループを設置した教室がいくつか用意されていて、これらの教室使用のコーディネートも担当している。



図26. メインエントランス前



図27. コーディネーターと